
第98回〔2022年度〕 日本選手権水泳競技大会

水 球 競 技

- ◇主 催 (公財)日本水泳連盟
◇主 管 (公財)東京都水泳協会
◇期 日 10月6日(木)・7日(金)・8日(土)・9日(日)
ただし10月6日(木)は公式練習日とする。
◇会 場 東京辰巳国際水泳場(東京都江東区辰巳2-8-10) TEL 035-569-5061

◇競技方法

- (1) (公財)日本水泳連盟 水球競技規則および一般規則による。
- (2) 男女毎、参加8チームによるトーナメント戦、および3・4位決定戦。
- (3) 本年度の成績上位2チームに次年度の本選出場権を与え、それぞれ第1シード・第2シードとする。
上記の他は以下のとおり。

【男子】

前年度成績1位を第1シード、2位を第2シード、当年度の日本学生選手権1位を第3シード、当年度の最終予選会1位を第4シードとし、残りをフリー抽選で組合せを行う。なお、シードチーム不参加の場合は、シード順位を順次繰り上げた上で残りをフリー抽選枠とする。

【女子】

前年度成績1位を第1シード、2位を第2シード、当年度の最終予選会の成績1位、2位を第3、第4シードとする。残りをフリー抽選枠とする。

◇競技順序

- 第1日目 7日(金) 女子1回戦4試合、男子1回戦4試合
第2日目 8日(土) 女子準決勝戦2試合、男子準決勝戦2試合
第3日目 9日(日) 女子3位決定戦・決勝戦、男子3位決定戦・決勝戦

◇出場資格

【男子】

- (1) 前年度の本大会上位2チーム
- (2) 当年度の日本学生選手権上位2チーム
- (3) 当年度の日本高等学校選手権上位1チーム
- (4) 当年度の最終予選会上位3チーム

なお、(1)(2)(3)に該当するチームが不参加の場合は、最終予選会にその参加枠を与える。

【女子】

- (1) 前年度の本大会上位2チーム
- (2) 当年度の最終予選会上位6チーム

◇申込規定(エントリー)

(1) 資格

- ① チームおよび選手は、2022年度(公財)日本水泳連盟登録団体および登録競技者であること。
- ② 監督は、チームの代表者として所属する選手や関係者の動向に責任を持ち、競技中はベンチに常駐できるものであること。また、本連盟の公認コーチ・水泳指導員等の資格保持者であることが望ましい。特別な理由がある場合、水球委員会の協議をもって変更を認めることがある。
- ③ 既存の学校や企業等の名称で参加する場合は、その団体に正式に所属している競技者のみで編成されていること。

- ④ 外国籍の選手は(公財)日本水泳連盟外国籍競技者登録細則に則って競技者登録されていること。また、1チームにつき最大2名とする。

(2) 制限

健康管理等について、運営事務局から依頼・指示する行動を遵守することを第一とする。

- ① 1チームにつき、選手15名以内・監督1名・他スタッフ4名以内とする。ただし、試合に参加できるのは選手13名以内・監督1名・スタッフ2名以内であり、競技の前日までにメンバーを申告する。
- ② 本大会に関わる全てのチームは、各予選会の申込締切りから本選終了までの期間、その選手構成の変更、並びに他の参加チームとの重複(男女チーム間を含む)、および移籍(競技者の登録団体異動)は認められない。ただし、日本高校選手権で参加権を得たチームに関しては、制限内で選手の追加を認める。
- ③ 外国籍の選手は1チームにつき2名以内とする。但し、留学生等で正科生として大学・高校等に在籍する場合は外国籍選手としての制約外とする。
- ④ 監督は男女間含めて複数のチームにエントリーすることはできない。監督以外のスタッフは、男女チーム間においてのみ兼任を認める。日本学生選手権・日本高校選手権で参加権を得たチームに関しては、本大会または最終予選エントリーに際して監督・スタッフの変更を認める。
- ⑤ メディカルスタッフは2名まで参加でき、複数のチームにエントリーすることができる。競技中はベンチ外の指定されたエリアに入ること。
- ⑥ 本大会での各チームにおける最終試合において出場停止処分が科された場合、当該チームの次の試合および次年度の日本選手権本選を対象とする。外国籍選手が対象の場合で本人が在籍しない場合、そのチームの外国籍選手を対象とする。出場停止処分試合数は、(公財)日本水泳連盟水球委員会によって通知される。

(3) 申込方法

参加チームは、所定の参加申込書(本連盟HPからダウンロードする)に必要な事項を記入(入力)し、プリントアウトした書面に所属加盟団体の参加承認(承認印)を経た上、申込金の振込受領証のコピーを添えて、郵送(発送記録の残る方式を利用)または直接持参にて下記宛てに申込みこと。さらに、必要事項を入力したデータファイルおよび振込受領証の写真を添付して、下記担当者宛に電子メールで送信すること。

<留意事項>

- ① **申込時の選手の番号は、必ず試合時における帽子の番号と同一とすること。**ただし、ゴールキーパーとフィールドプレイヤーの入れ替えに限り、1番から13番までの選手内での帽子番号の変更登録を認める。また、14番と15番の選手が出場する場合は、欠場する選手との入れ替えを認める。ともに試合前の所定時間までに登録すること。
- ② 備考欄に、キャプテンには「○」を記載すること。
- ③ 監督以外のスタッフは4名まで、メディカルスタッフは2名まで、ベンチに入る予定のメンバーを記入すること。
- ④ ADカード等に使用する選手・監督・スタッフ全員の顔写真(デジタルデータ)およびチームロゴマークを期日までに提出すること。(提出方法については該当チーム宛通知する。最終予選出場チームは暫定で全チーム提出すること)

(4) 申込先

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 8階
(公財)日本水泳連盟 第98回 日本選手権水泳競技大会 水球競技 係
TEL 03-6812-9061 FAX 03-6812-9062

(5) 申込締切日 9月6日(火)午後4時必着

※これは、最終予選会の申込締め切り日と同様である。予選会を経て、本選参加資格を得たチームの申込書については、予選会通過の時点で事務局が受理したものとする。本選参加決定後、新たに申込金のみを支払うものとする。支払い方法については、該当チーム宛通知する。

(6) 申込金 1チームにつき 40,000円

郵便振替口座 東京 00130-1-5178 (公財)日本水泳連盟

※振込受領書のコピーを申込書に添付すること。振込用紙の通信欄に以下を明記すること。

- ①大会名 (=日本選手権<水球>男子または女子) ②チーム名
③申込者氏名 ④申込者の連絡先 (携帯電話番号など)

※振替払込請求書兼受領書のご依頼人欄に以下を明記すること。

- ①大会名 (=日本選手権<水球>男子または女子) ②チーム名

◇組合せ抽選会

監督者かこれに代わるチームの代表者が出席すること。欠席の場合は事務局側で厳正な抽選を行うとともに、決定事項に関しては委任されたものとして扱う。

【男子】

月 日 () 男子最終予選会の競技終了後、予選会実施会場にて行う。

【女子】

月 日 () 女子最終予選会の競技終了後、予選会実施会場にて行う。

◇ドーピング検査

- (1) 本競技会は、日本アンチドーピング規定が適用される。
(2) 大会当日18歳未満の参加者は、ドーピングコントロール手続同意書を必要とする。
(様式はJADAホームページよりダウンロードすること)

◇表彰

【男女とも】

- (1) 選手権獲得チームに、優勝楯、メダル、賞状を授与する。
(2) 2位、3位チームに、メダル、賞状を授与する。

◇監督者会議

10月6日(木)午後6時00分～東京辰巳国際水泳場会議室(予定)

※監督者かこれに代わるチーム責任者が、必ず出席すること。

◇問合せ先(担当者)

(公財)日本水泳連盟 水球委員会 競技本部

【男子】南部 健 携帯電話：090-2913-1335 E-mail：WP_JPN-Ch_Men@googlegroups.com

【女子】潮崎正一 携帯電話：090-1998-5328 E-mail：WP_JPN-Ch_Women@googlegroups.com

◇宿泊・輸送・弁当

京王観光(株) 東京中央支店 担当：秋元

TEL 03-5312-6540 (月～金 9:00～18:00 土日祝祭日は休業)

FAX 03-5379-0740 E-mail：water-polo@keio-kanko.co.jp

※競技者登録について

現行通り第一区分登録(大学・高校・企業)と第二区分登録(クラブチーム)の競技者登録形式を維持したチーム編成を可とする。学生や高校生が第二区分登録のチームで参加する場合は、地区予選会のエントリー締切までに第二区分登録が完了していること。